

# Q & A

問題解決!



南部宮農センター  
園芸課  
検校 哲也

**Q1** 畑でなく土の痩せた庭で、レモン、不知火が順調に育ちません。不知火は葉が落ちてしまいました。柑橘類の上手な育て方を教えてください。

**A1** 庭であれば、日当たりと水はけがよく、強い風が当たらないところなら育ちます。植付けの時期は春ですが、おさらいします。

- ① 深さ50cm、直径50cmの植穴をあけ、腐葉土18ℓを混ぜ込みます。
  - ② 古い根を取り除き、接ぎ木部分より上に土がかぶらないように植えこみます。
  - ③ 植えこんだら、高さ50cmほどに枝を切りつめます。
  - ④ 支柱に固定します。
  - ⑤ たっぷり水やりします。
- 根付いたら、水やりは基本、不要です。真夏に10日以上雨が降らなかつたり、5cmほどの土のままで乾燥している

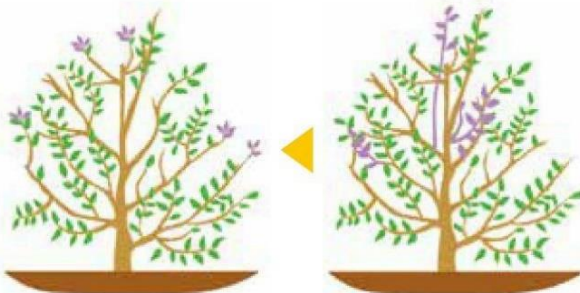
ようだったら水やりしてください。

- 剪定は3月です。剪定することで木が若返り、おいしい果実を毎年楽しめます。込んだ枝を整理することで、日当たりと風通しがよくなり、病害虫の発生を抑えることにつながります。また、収穫などの作業もしやすくなります。
- ① 枯れ枝や古い枝を落とします。
  - ② 立枝(徒長枝)、内向きや下向きの枝を付け根から切り、込み合ったところを整理します。
  - ③ 仕上げに伸びすぎた枝を切り詰めます。

剪定は、花つきを考えて全体の2〜3割を落とす程度にしてください。すべての枝を切り詰めると花が咲かず果実もありません。(図参照)

不知火の葉が落ちてしまったとのことですが、しばらく待つてみてください。復活するかもしれません。

木は、植え替えると落葉することがよくあります。根が張っていませんので、葉の蒸散量に吸収量が追いつきません。生きるために、葉を落とします。



剪定は全体の2〜3割を落とす程度に



蒸散に吸収が追いつかないことは、ここ数年の猛暑で街路樹が夏に落葉することがあるのも、同じ理屈です。根が張ってしまえば水を吸い始めて生き返ります。また、新芽を吹き出します。植替えの時、枝を整理して根鉢の大きさに応じて樹形をコンパクトに整えるのは、このためです。

質問の中で、「土の痩せた庭で」とありますが、宅地造成した新しい庭なんですか。よくある相談が、「新居を建てたので庭で野菜や果物を育てたい。でも土が悪いのか育ちが良くない」という悩みです。昔から畑だったところに家を建てて、その庭だったら普通に育つでしょう。でも、盛り土だったら、運んできた土が畑に

向いているとは限りません。建売住宅などでは、雑草が生えないように砂利などが使われていたりします。ほとんどの場合、畑にするためには、掘り起こして土を入れ替える必要があります。掘り起こすなら最低でも20cm、30cmの深さなら十分でしょう。そこまでできないなら、レンガを積んで花壇のように囲って園芸培土を入れます。

砂利や石がない山土で造成してあれば、腐葉土や堆肥を加えて耕して畑にするのは簡単です。初めの数年は有機物がなく微生物もいませんので十分な生育が望めないかもしれませんが、有機物を加え続けられれば段々素晴らしい畑に変わっていきます。

オンライン農業塾はこちら  
動画はコチラ

管内の病害虫情報はコチラ

家庭菜園情報はコチラ